

一、本会議の審議概要

○平成二年十月十二日 金曜日

議長は、文仁親王殿下結婚の儀にあたり、皇居において天皇后陛下並びに文仁親王同妃両殿下にお祝いのことばを申し上げた旨報告した。

開会 午前十時三分

日程第一 議席の指定

議長は、議員の議席を指定した。

議長は、新たに当選した議員山口光一君を議院に紹介した。

元本院議長徳永正利君逝去につき哀悼の件

右の件は、議長からすでに弔詞をささげた旨報告し、その弔詞を朗読した。

議員宮田輝君逝去につき哀悼の件

右の件は、議長からすでに弔詞をささげた旨報告し、その弔詞を朗読した。次いで、

一井淳治君が哀悼の辞を述べた。

議員高木健太郎君逝去につき哀悼の件

右の件は、議長からすでに弔詞をささげた旨報告し、その弔詞を朗読した。次いで、

下稲葉耕吉君が哀悼の辞を述べた。

特別委員会設置の件

右の件は、議長発議により、科学技術振興に関する諸問題を調査しその対策樹立に

備

考

一〇・一二 開会式

資するため委員二十名から成る科学技術特別委員会、公害及び環境保全に関する諸問題を調査しその対策樹立に資するため委員二十名から成る環境特別委員会、災害に関する諸問題を調査しその対策樹立に資するため委員二十名から成る災害対策特別委員会、選挙制度に関する調査のため委員二十五名から成る選挙制度に関する特別委員会、沖縄及び北方問題に関する対策樹立に資するため委員二十名から成る沖縄及び北方問題に関する特別委員会を設置することに全会一致をもって決し、議長は、特別委員を指名した。

休憩 午前十時二十六分

再開 午後五時一分

日程第 二 会期の件

右の件は、全会一致をもって三十日間とすることに決した。

裁判官弾劾裁判所裁判員、同予備員、裁判官訴追委員及び同予備員辞任の件

右の件は、裁判官弾劾裁判所裁判員矢田部理君、同予備員橋本孝一郎君、裁判官訴追委員名尾良孝君、一井淳治君、同予備員下稲葉耕吉君、久保田真苗君の辞任を許可することに決した。

裁判官弾劾裁判所裁判員等各種委員の選挙

右の選挙は、動議によりその手続を省略して議長の指名によること及び裁判官弾劾裁判所裁判員予備員、裁判官訴追委員予備員の職務を行う順序は議長に一任することに決し、議長は、裁判官弾劾裁判所裁判員に千葉景子君、同予備員に野沢太三君、裁判官訴追委員に後藤正夫君、久保田真苗君、同予備員に高橋清孝君、清水澄子君、検察官適格審査会委員に林田悠紀夫君、松前達郎君、同予備委員に安恒良一君（松

前達郎君の予備委員)、高崎裕子君(林田悠紀夫君の予備委員)、国土審議会委員に齋藤十朗君、国土開発幹線自動車道建設審議会委員に梶原清君を指名した。また、裁判官弾劾裁判所裁判員予備員の職務を行う順序は、野沢太三君を第二順位とし、第二順位の井上哲夫君を第三順位とし、裁判官訴追委員予備員の職務を行う順序は、高橋清孝君を第一順位とし、清水澄子君を第二順位とした。

国家公務員等の任命に関する件

右の件は、電波監理審議会委員に浅見喜作君、中央労働委員会委員に高梨昌君を任命したことに同意又は承認することに決し、電波監理審議会委員に猪瀬博君、中央労働委員会委員に青木勇之助君、石川吉右衛門君、市原昌三郎君、川口實君、北川俊夫君、神代和俊君、鈴木重信君、萩澤清彦君、福田平君、舟橋尚道君、細野正君、山口俊夫君を任命したことに全会一致をもって同意又は承認することに決した。

日程第三 国務大臣の演説に関する件

海部内閣総理大臣は所信について演説をした。

国務大臣の演説に対する質疑は、延期することに決した。

散会 午後五時三十七分

(衆議院)

一〇・一二 国務大臣の演説

一六、一七 演説に対する質疑

○平成二年十月十七日 水曜日

開会 午前十時一分

日程第一 國務大臣の演説に関する件(第二日)

浜本万三君、佐々木満君は、それぞれ質疑をした。

残余の質疑は、延期することに決した。

散会 午後零時三十八分

○平成二年十月十八日 木曜日

開会 午前十時一分

國家公務員等の任命に関する件

右の件は、臨時行政改革推進審議会委員に芦田基之助君、磯村尚徳君、宇野收君、小林陽太郎君、鈴木永二君、高原須美子君、長岡實君、真柄栄吉君、山本壮一郎君を任命することに同意することに決した。

日程第一 國務大臣の演説に関する件(第三日)

広中和歌子君、立木洋君は、それぞれ質疑をした。

休憩 午前十一時三十一分

再開 午後一時二分

休憩前に引き続き、磯村修君、田淵哲也君、山口哲夫君は、それぞれ質疑をした。

議長は、質疑が終了したことを告げた。

散会 午後二時五十四分

○平成二年十月二十四日 水曜日

開会 午前十時一分

日程第一 特別委員会設置の件

右の件は、議長発議により、国際連合平和協力法案を審査するため委員四十五名から成る国際連合平和協力に関する特別委員会を設置することに全会一致をもって決し、議長は、特別委員を指名した。

散会 午前十時二分

○平成二年十一月二日 金曜日

開会 午前十時一分

議長長谷川信君逝去につき哀悼の件

右の件は、議長発議により院議をもって弔詞をささげることに関し、議長は、弔詞を朗読した。次いで、鈴木省吾君が哀悼の辞を述べた。

(予算委員会)

衆議院 一〇・一九

参議院 一〇・二二

一〇・三〇 ネルソン・マンデラ・

アフリカ民族会議副議長
の演説(衆議院議場)

特別委員会設置の件

右の件は、議長発議により、土地問題及び国土利用に関する対策樹立に資するため委員三十名から成る土地問題等に関する特別委員会を設置することに全会一致をもって決し、議長は、特別委員を指名した。

裁判官訴追委員辞任の件

右の件は、加藤武徳君の辞任を許可することに決した。

裁判官訴追委員の選挙

右の選挙は、動議によりその手続を省略して議長の指名によることに決し、議長は、

裁判官訴追委員に斎藤栄三郎君を指名した。

国家公務員等の任命に関する件

右の件は、運輸審議会委員に黒川武君を任命することに全会一致をもって同意することに決した。

日程第一 地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律案

(内閣提出、衆議院送付)

右の議案は、選挙制度に関する特別委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、全会一致をもって可決された。

散会 午前十時十四分

○平成二年十一月七日 水曜日

開会 午前十時一分

議長は、新たに当選した議員大島慶久君を議院に紹介した後、同君を通信委員に指名した。

日程第一 即位の礼につき慶賀の意を表する件

右の件は、議長発議により、院議をもって賀詞を奉呈することとし、即位の礼につき天皇陛下に奉呈する賀詞案起草のため委員二十五名から成る賀詞案起草に関する特別委員会を設置することに決し、議長は、特別委員を指名した。

休憩 午前十時三分

再開 午前十一時十六分

賀詞案起草に関する特別委員長から報告があった後、特別委員会起草の賀詞案は、可決された。

賀詞

天皇陛下におかせられましたは 菊花かおるきよの佳き日に 即位の礼を挙行せられますことは 国民のひとしく 歓喜にたえないところであります

天皇陛下 皇后陛下の万歳をことほぎ このたびの御盛典が 末永く 我が国の進展に 光を添えるものでありますよう お祈り申し上げます

ここに参議院は 国民の至情を代表して 院議をもって 恭しく慶賀の誠を表します

休憩 午前十一時十九分

再開 午後零時十六分

(衆議院)

一一・六 即位の礼に当たり賀詞奉呈の件

国会等の移転に関する決議案（下条進一郎君外八名発議）（委員会審査省略要求事件）

右の議案は、発議者要求のとおり委員会審査を省略し、日程に追加して議題とすることに決し、下条進一郎君から趣旨説明があった後、可決された。

海部内閣総理大臣は、右の決議について所信を述べた。

散会 午後零時二十三分

○平成二年十一月九日 金曜日

開会 午後零時三十一分

日程第一乃至第二二の請願

水俣病問題に関する請願外一件の請願

右の請願は、地方行政委員長外八委員長の報告を省略し、全会一致をもって各委員会決定のとおり採択することに決した。

委員会及び調査会の審査及び調査を閉会中も継続するの件

右の件は、次の案件について委員会及び調査会の審査及び調査を閉会中も継続することに決した。

内閣委員会

- 一、国家行政組織及び国家公務員制度等に関する調査
- 一、国の防衛に関する調査

地方行政委員会

- 一、地方行政の改革に関する調査

法務委員会

- 一、検察及び裁判の運営等に関する調査

外務委員会

- 一、国際情勢等に関する調査

大蔵委員会

- 一、育児休業手当特別会計法案（第百十八回国会参第五号）

- 一、租税及び金融等に関する調査

文教委員会

- 一、学校教育法の一部を改正する法律案（第百十八回国会参第六号）

- 一、学校教育法及び教育職員免許法の一部を改正する法律案（第百十八回国会参第七号）

- 一、女子教職員の出産に際しての補助教職員の確保に関する法律の一部を改正する法律案（第百十八回国会参第八号）

- 一、教育、文化及び学術に関する調査

社会労働委員会

- 一、育児休業法案（第百十八回国会参第二号）

- 一、原子爆弾被爆者等援護法案（第百十八回国会参第四号）

- 一、社会保障制度等に関する調査

- 一、労働問題に関する調査

農林水産委員会

- 一、農林水産政策に関する調査

商工委員会

- 一、産業貿易及び経済計画等に関する調査

運輸委員会

- 一、運輸事情等に関する調査

逓信委員会

- 一、郵政事業及び電気通信事業の運営並びに電波に関する調査

建設委員会

- 一、建設事業及び建設諸計画等に関する調査

予算委員会

- 一、予算の執行状況に関する調査

決算委員会

- 一、昭和六十二年一般会計歳入歳出決算、昭和六十二年特別会計歳入歳出決

算、昭和六十二年国稅收納金整理資金受払計算書、昭和六十二年度政府關係

機關決算書

- 一、昭和六十二年度国有財産増減及び現在額總計算書

- 一、昭和六十二年度国有財産無償貸付状況總計算書

- 一、国家財政の經理及び国有財産の管理に関する調査

議院運営委員会

- 一、議院及び国立国会図書館の運営に関する件

科学技術特別委員会

一、科学技術振興対策樹立に関する調査

環境特別委員会

一、公害及び環境保全対策樹立に関する調査

災害対策特別委員会

一、災害対策樹立に関する調査

選挙制度に関する特別委員会

一、選挙制度に関する調査

沖縄及び北方問題に関する特別委員会

一、沖縄及び北方問題に関する対策樹立に関する調査

土地問題等に関する特別委員会

一、土地問題及び国土利用に関する対策樹立に関する調査

外交・総合安全保障に関する調査会

一、外交・総合安全保障に関する調査

国民生活に関する調査会

一、国民生活に関する調査

産業・資源エネルギーに関する調査会

一、産業・資源エネルギーに関する調査

議長は、今国会の議事を終了するに当たり挨拶をした。

散会 午後零時三十四分

国際連合平和協力法案の審議

(衆議院本会議)

一〇・一八 趣旨説明

(衆議院国際連合平和協力に関する特別委員会)

一〇・一八 設置

委員長、理事互選

提案理由説明

一一・一 公聴会

2 議案件名一覧

(件名の上の数字は提出番号。)

◎内閣提出法律案(五件) (うち衆議院において前国会から継続三件)

●両院通過(一件)

二 地方公共団体の議会の議員及び長の選挙
期日等の臨時特例に関する法律案

●衆議院継続(三件) (いずれも衆議院において前国会から継続)

一一八回 一八 防衛庁設置法及び自衛隊法の一部を改正する法律案

一一八回 六七 医療法の一部を改正する法律案

一一八回 七〇 地方自治法の一部を改正する法律案

●衆議院未了(一件)

一 国際連合平和協力法案

◎本院議員提出法律案(六件) (いずれも本院において前国会から継続)

●本院継続(六件)

一一八回 三 育児休業法案

一一八回 四 原子爆弾被爆者等援護法案

一一八回 五 育児休業手当特別会計法案

一一八回 六 学校教育法の一部を改正する法律案

一一八回 七 学校教育法及び教育職員免許法の一部を改正する法律案

一一八回 八 女子教職員の出産に際しての補助教職員の確保に関する法律の一部を改正する法律案

◎衆議院議員提出法律案(四件) (いずれも衆議院において前国会から継続)

●衆議院継続(四件)

一一八回 九 学校教育法等の一部を改正する法律案

一一八回 一〇 公立幼稚園の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律案

一一八回 一一 公立の障害児教育諸学校の学級編制及び

教職員定数の標準等に関する法律案

一一八回 一二 空き缶、空き瓶等の回収に関する法律案

◎予備費等承諾を求めるの件（七件）（いずれも衆議院において前国会から継続）

●衆議院継続（七件）

○昭和六十三年年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その２）（第百十八回国会提出）

○昭和六十三年年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その２）（第百十八回国会提出）

○昭和六十三年年度特別会計予算総則第十二条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書（第百十八回国会提出）

○昭和六十二年年度特別会計予算総則第十三条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書（その２）（第百十八回国会提出）

○平成元年度一般会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その１）（第百十八回国会提出）

○平成元年度特別会計予備費使用総調書及び各省各庁所管使用調書（その１）（第百十八回国会提出）

○平成元年度特別会計予算総則第十二条に基づく経費増額総調書及び各省各庁所管経費増額調書（その１）

（第百十八回国会提出）

◎決算その他（九件）

●継続（三件）

○昭和六十二年年度一般会計歳入歳出決算、昭和六十二年度特別会計歳入歳出決算、昭和六十二年度国税収納金整理資金受払計算書、昭和六十二年度政府関係機関決算書（第百十四回国会提出）

○昭和六十二年年度国有財産増減及び現在額総計算書（第百十四回国会提出）

○昭和六十二年年度国有財産無償貸付状況総計算書（第百十四回国会提出）

●未了（六件）

○日本放送協会昭和六十二年度財産目録、貸借対照表及び損益計算書並びにこれに関する説明書（第百十四回国会提出）

○昭和六十三年年度一般会計歳入歳出決算、昭和六十三年度特別会計歳入歳出決算、昭和六十三年度国税収納金

整理資金受払計算書、昭和六十三年度政府関係機関決算書（第百十七回国会提出）

○昭和六十三年度一般会計国庫債務負担行為総調書（第百十七回国会提出）

○昭和六十三年度国有財産増減及び現在額総計算書（第百十七回国会提出）

○昭和六十三年度国有財産無償貸付状況総計算書（第百十七回国会提出）

○日本放送協会昭和六十三年度財産目録、貸借対照表及び損益計算書並びにこれに関する説明書（第百十七回国会提出）

◎決議案（一件）

●可決（一件）

一 国会等の移転に関する決議案

◎賀詞案（一件）

●可決（一件）

○賀詞案（即位の礼につき天皇陛下に奉呈する賀詞案）

3 委員会別の成立した法律等の要旨及び本会議における委員長報告（議案審議表付）

○大蔵委員会

・本院議員提出法律案（一件）

118国会 5	番号	件名	提出者 (月日)	予備送 付月日	衆へ 提出	参議院	衆議院	備考
		育児休業手当特別会計法案	糸久八重子君 外七名 (二、五、一一)			二、 六、二〇 委員会付託 委員会議決 本会議議決	委員会付託 委員会議決 本会議議決	

○文教委員会

・本院議員提出法律案（三件）

番号	件名	提出者 (月日)	予備送 付月日	衆 議 院 へ 提 出	参 議 院			衆 議 院			備 考
					委員会付託	委員会議決	本会議議決	委員会付託	委員会議決	本会議議決	
118国会 6	学校教育法の一部を改正する法律案	山本正和君 外一名 (二、六、一五)			二、 六、二〇	継続 審査					
118国会 7	学校教育法及び教育職員免許法の一部を改正する法律案	小林正君 外一名 (六、一五)			六、二〇	継続 審査					
118国会 8	女子教職員の出産に際しての補助教職員の確保に関する法律の一部を改正する法律案	森暢子君 外一名 (六、一五)			六、二〇	継続 審査					

○社会労働委員会

・本院議員提出法律案（二件）

番号	件名	提出者 (月日)	予備送 付月日	衆 議 院	衆 議 院	備考
118国会 3	育児休業法案	糸久八重子君 外七名 (二、四、二〇)		衆議院 委員会付託 二、 五、二九	衆議院 委員会議決 本会議議決	
118国会 4	原子爆弾被爆者等援護法案	山本正和君 外九名 (五、九)		衆議院 委員会付託 六、一八	衆議院 委員会議決 本会議議決	

○通信委員会
・NHK決算(二件)

件名	提出月日	参議院			衆議院			備考
		委員会付託	委員会議決	本会議議決	委員会付託	委員会議決	本会議議決	
日本放送協会昭和六十二年度財産目録、貸借対照表及び損益計算書並びにこれに関する説明書	元、一、二七 (第百十四回国会)	二、一〇、一二			二、一〇、一二			第百十四回国会 第百十五回国会 第百十六回国会 第百十七回国会 未了
日本放送協会昭和六十三年度財産目録、貸借対照表及び損益計算書並びにこれに関する説明書	二、一、一九 (第百十七回国会)	一〇、一二			一〇、一二			第百十七回国会 第百十八回国会 未了

○決算委員会

・決算その他(六件)

件名	提出月日	参議院		衆議院		備考
		委員会付託	委員会議決 本会議議決	委員会付託	委員会議決 本会議議決	
昭和六十二年度一般会計歳入歳出決算、昭和六十二年度特別会計歳入歳出決算、昭和六十二年度国税収納金整理資金受払計算書、昭和六十二年度政府関係機関決算書	昭和六三、 一一、三〇 (第百十四回国会)	平成二、 二、二七	継続審査	平成二、 一〇、一二	継続審査	第百十四回国会 第百十五回国会 第百十六回国会 第百十七回国会 第百十八回国会 大蔵大臣報告 了 了 了 了 了 了
昭和六十二年度国有財産増減及び現在額総計算書	平成元、 一、二七 (第百十四回国会)	二、二七	継続審査	一〇、一二	継続審査	第百十四回国会 第百十五回国会 第百十六回国会 第百十七回国会 第百十八回国会 了 了 了 了 了
昭和六十二年度国有財産無償貸付状況総計算書	一、二七 (第百十四回国会)	二、二七	継続審査	一〇、一二	継続審査	第百十四回国会 第百十五回国会 第百十六回国会 第百十七回国会 第百十八回国会 了 了 了 了 了
昭和六十三年度一般会計国庫債務負担行為総調査	一一、二五 (第百十七回国会)	一〇、一二		一〇、一二	継続審査	第百十七回国会 第百十八回国会 了 了
昭和六十三年度国有財産増減及び現在額総計算書	二、一、一九 (第百十七回国会)	一〇、一二		一〇、一二	継続審査	第百十七回国会 第百十八回国会 了 了
昭和六十三年度国有財産無償貸付状況総計算書	一、一九 (第百十七回国会)	一〇、一二		一〇、一二	継続審査	第百十七回国会 第百十八回国会 了 了

○選挙制度に関する特別委員会

・内閣提出法律案（一件）

番号	件名	先議院	提出月日	参議院			衆議院			備考
2	地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律案	衆	二、 一〇、一九	委員会付託 二、 一〇、一九 (予)	委員会議決 二、 一一、一	本会議議決 二、 一一、二	委員会付託 二、 一〇、一九 公職選挙法 改正調査特委	委員会議決 二、 一〇、三一	本会議議決 二、 一一、一	

地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律案（閣法第二号）

要旨

本法律案の主な内容は、次のとおりである。

一、平成三年三月一日から同年五月三十一日までの間に任期が満了することとなる地方公共団体の議会の議員又は長の任期満了による選挙等の選挙の期日は、当該選挙を同年二月二十八日以前に行う場合を除き、都道府県及び指定都市の議会の議員及び長の選挙にあっては平成三年四月七日、指定都市以外の市、町村及び特別区の議会の議員及び長の選挙にあっては同月二十一日に統一する。

二、選挙期日の告示の日を次のように定める。

- 1 都道府県知事の選挙 平成三年三月十八日
 - 2 指定都市の長の選挙 平成三年三月二十三日
 - 3 都道府県及び指定都市の議会の議員の選挙 平成三年三月二十九日
 - 4 指定都市以外の市及び特別区の議会の議員及び長の選挙 平成三年四月十四日
 - 5 町村の議会の議員及び長の選挙 平成三年四月十六日
- 三、統一選挙の実施に伴い、同時選挙、重複立候補の禁止、寄附等の禁止及び共済給付金の特例等について所要の措置を講ずる。

委員長報告

ただいま議題となりました法律案につきまして、委員会における審査の経過及び結果を御報告申し上げます。

本法律案は、全国多数の地方公共団体におきまして、議会の議員又は長の任期が平成三年三月、四月又は五月中に満了することとなる実情にかんがみ、これらの選挙の円滑な執行と執行経費の節減を図るため、選挙の期日を統一しようとするものであります。その期日を、都道府県及び指定都市の議会の議員及び長の選挙については平成三年四月七日、指定都市以外の市、町村及び特別区の議会の議員及び長の選挙については四月二十一日とすることのほか、統一選挙の実施に伴い、同時選挙、重複立候補の禁止、寄附等の禁止及び共済給付金の特例等につき所要の措置を講ずることを主な内容とするものであります。

委員会におきましては、政府より趣旨説明を聴取した後、採決を行いましたところ、本法律案は全会一致をもって原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告申し上げます。

○賀詞案起草に関する特別委員会

件名	提出者	提出月日	委員会付託	委員会議決	本会議議決	備考
賀詞案起草の件 (即位の礼につき天皇陛下に奉呈する賀詞案)			二、一一、七	二、一一、七	可決	

賀詞

天皇陛下におかせられましたは 菊花かおるきよの佳き日に即位の礼を挙行せられますことは 国民のひとしく歓喜にたえないところであります
 天皇陛下 皇后陛下の万歳をことほぎ このたびの御盛典が 末永く我が国の進展に 光を添えるものでありますようお祈り申し上げます
 ここに参議院は 国民の至情を代表して 院議をもって恭しく慶賀の誠を表します

委員長報告

賀詞案起草に関する特別委員会における賀詞案起草の経過及び結果につきまして、御報告申し上げます。

天皇陛下におかせられましたは、来る十一月十二日の佳き日に即位の礼を皇居において挙行せられます。まことに慶賀の至りにたえません。

先ほどの本会議におきまして指名されました特別委員は、直ちに会議を開き、委員長の互選を行いましたところ、委員長に私、下条進一郎が互選されました。引き続き、賀詞案の協議に入りました。案文の起草に当たりましては、このたびの御盛典にふさわしい賀詞を作成することに努めまして、慎重に協議いたしました。その結果、次のような成案を得た次第でございます。賀詞案を朗読いたします。

賀詞案

天皇陛下におかせられましたは 菊花かおるきよの佳き

日に即位の礼を挙行せられますことは 国民のひとしく歓喜にたえないところであります

天皇陛下 皇后陛下の万歳をことほぎ このたびの御盛典が 末永く我が国の進展に 光を添えるものでありますようお祈り申し上げます

ここに参議院は 国民の至情を代表して 院議をもって恭しく慶賀の誠を表します

以上でございます。

何とぞ皆様の御賛同をお願い申し上げます、報告を終わる次第でございます。

○委員会付託に至らなかつたもの

・内閣提出法律案（一件）

1	番号	1	件名	国際連合平和協力法案
	院議先	衆	提出日	二、一〇、一六
	委員会付託		衆議院	
	委員会議決		衆議院	
	本会議議決		衆議院	
	委員会付託	二、一〇、一八	衆議院	
	委員会議決		衆議院	
	本会議議決		衆議院	
	備考			二、一〇、一八 衆本会議趣旨説明

・決算その他（一件）

昭和六十三年度一般会計歳入歳出決算、昭和三十三年度特別会計歳入歳出決算、昭和三十三年度国税収納金整理資金受払計算書、昭和三十三年度政府関係機関決算書	件名	昭和三十三年度一般会計歳入歳出決算、昭和三十三年度特別会計歳入歳出決算、昭和三十三年度国税収納金整理資金受払計算書、昭和三十三年度政府関係機関決算書
	提出日	元、一二、二五 (第百十七回国会)
	委員会付託	
	委員会議決	
	本会議議決	
	委員会付託	二、一〇、一二
	委員会議決	
	本会議議決	
	備考	第百十七回国会 第百十八回国会 未了

4 本会議決議

1	号 番						
国会等の移転に関する決議案	件 名	提出者	提出月日	委員会付託	委員会議決	本会議議決	備 考
		下条進一郎君 外 八 名	二、 一、 七			可 決	

国会等の移転に関する決議

わが国は、明治以来近代化をなしとげ、第二次世界大戦後の荒廃から立ち上がり、今日の繁栄を築きあげてきた。今後の課題は、国民がひとしく豊かさを実感する社会を実現し、世界の人々との友好親善を深め、国際社会に貢献していくことである。

わが国の現状は、政治、経済、文化等の中枢機能が首都東京へ集中した結果、人口の過密、地価の異常な高騰、良好な生活環境の欠如、災害時における都市機能の麻痺等を生ぜしめるとともに、地域経済の停滞や過疎地域を拡大させるなど、さまざまな問題を発生させている。

これら国土全般にわたって生じた歪を是正するための基本的対応策として一極集中を排除し、さらに、二十一世紀にふさわしい政治・行政機能を確立するため、国会及び政府機能の移転を行うべきである。

政府においては、右の趣旨を体し、その実現に努力すべきである。

右決議する。

三、請願の審議経過

1 請願件数表

計	土地問題	国連平和	選挙	環境	議院運営	建設	通信	運輸	商工	農林水産	社会労働	文教	大蔵	外務	法務	地方行政	内閣	委員会		備考
																		付託	採択	
一一三八	三	一四二	六	四六	九	三三二	一六	一八	三	一三〇	三八二	二六	八九	一二〇	九七	五	一四	採	未了	
一七三	〇	〇	〇	一	〇	三	〇	〇	三	一	二二	一一	〇	一二〇	〇	二	一一	採	未了	
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	不採	未了	
九六五	三	一四二	六	四五	九	二九	一六	一八	〇	一二九	三六一	一五	八九	〇	九七	三	三	採	未了	
一七三	〇	〇	〇	一	〇	三	〇	〇	三	一	二二	一一	〇	一二〇	〇	二	一一	採	未了	
提出総数は一一三九件、取下げ一件																				

2 本会議において採択された請願件名一覧

○内閣委員会

一一件

国家公務員採用試験における点字及び拡大文字による試験の実施に関する請願（第一〇〇四号外一〇件）

○地方行政委員会

二件

固定資産税の評価替えに伴う負担の増大の緩和に関する請願（第三九号）

公害の防止に関する事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の期間延長に関する請願（第一五六号）

○外務委員会

一二〇件

イラク・クウェイト問題に関する請願（第四一号）

「児童の権利条約」の早期批准に関する請願（第一〇六号）

ペルシャ湾岸紛争の平和的解決に関する請願（第一六二号）

イラク・クウェイト残留邦人解放問題に関する請願（第二二三号外一一五件）
イラク、クウェイトの残留邦人解放問題に関する請願（第一一二〇号）

○文教委員会

一一件

義務教育費国庫負担制度の堅持等に関する請願（第七二号）

義務教育諸学校の学校事務職員に対する義務教育費国庫負担制度の維持に関する請願（第九九号外四件）
現行義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願（第一〇四号）

第五次教職員定数改善の計画年度内完結に関する請願（第一〇五号）

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願（第一五五号）

小中学校事務職員・栄養職員に対する義務教育費国

庫負担制度の維持に関する請願（第五五七号外一件）

○社会労働委員会

二一件

保育制度の堅持と充実に関する請願（第八六号外一件）

保育所制度の充実に関する請願（第一一一九号）

○農林水産委員会

一件

森林の復元並びに林業の振興に関する請願（第一六一号）

○商工委員会

三件

石油製品値上げに伴う便乗値上げ防止に関する請願（第一〇二号）

原子力発電所の安全確保と防災対策に関する請願（第一〇三号）

石油製品等の便乗値上げ防止に関する請願（第一五八号）

○建設委員会

三件

○環境特別委員会

一件

公共投資基本計画の具体化に関する請願（第四〇号）
公共投資基本計画面具体化に関する請願（第一〇〇号）
公共投資基本計画の実施に関する請願（第一六〇号）
水俣病問題に関する請願（第七五号）

四、委員会別国政調査概要

○内閣委員会

平成二年

十一月 八日 木曜日

派遣委員から報告を聴いた。

○地方行政委員会

平成二年

十月二十三日 火曜日

派遣委員から報告を聴いた。

○法務委員会

平成二年

十一月 八日 木曜日

派遣委員から報告を聴いた。

○大蔵委員会

平成二年

十一月 八日 木曜日

派遣委員から報告を聴いた。

○社会労働委員会

平成二年

十月 三十日 火曜日

派遣委員から報告を聴いた。

十一月 一日 木曜日

原子爆弾被爆者対策に関する件、浦和市における集団下痢事件に関する件、戦没者の遺骨収集に関する件、看護婦の養成確保対策に関する件、小規模作業所問題に関する件、保健医療分野における国際協力に関する件等について津島厚生大臣、政府委員、文部省、建設省及び外務省当局に対し質疑を行った。

(育児休業制度検討小委員会)

育児休業制度について政府委員から説明を聴いた後、政府委員に対し質疑を行った。

十一月 八日 木曜日

育児休業制度について参議院議員前島英三郎君から説明を聴いた後、同君に対し質疑を行った。

(育児休業制度検討小委員会)

○農林水産委員会

平成二年

十一月 一日 木曜日

当面の農林水産行政に関する件について山本農林水産大臣、政府委員、通商産業省、厚生省及び総務庁当局に対し質疑を行った。
派遣委員から報告を聴いた。

○商工委員会

平成二年

十一月 八日 木曜日

派遣委員から報告を聴いた。

○運輸委員会

平成二年

十月 三十日 火曜日

派遣委員から報告を聴いた。

○通信委員会

平成二年

十一月 八日 木曜日

派遣委員から報告を聴いた。

○建設委員会

平成二年

十一月 八日 木曜日

派遣委員から報告を聴いた。

○予算委員会

平成二年

十月二十二日 月曜日

予算の執行状況に関する件について海部内閣総理大臣、梶山法務大臣、橋本大蔵大臣、中山外務大臣、石川防衛庁長官、津島厚生大臣及び政府委員に対し質疑を行った。

○科学技術特別委員会

平成二年

十月 十二日 金曜日

派遣委員から報告を聴いた。

十一月 二日 金曜日

我が国の原子力開発利用の基本方針に関する件、六ヶ所村核燃料サイクル施設建設計画に関する件、我が国のエネルギー研究開発の基本方針に関する件、我が国の海洋開発の基本方針に関する件、人形峠ウラン残土処理に関する件、チタン鉱石残泥処理に関する件、東京電力福島第二原発三号炉の運転再開に関する件等について大島科学技術庁長官、政府委員、資源エネルギー庁、通商産業省当局及び参考人動力炉・核燃料開発事業団理事橋本好一君に対し質疑を行った。

○環境特別委員会

平成二年

十一月 二日 金曜日

派遣委員から報告を聴いた。
公害及び環境保全対策に関する件について北川環境庁長官、政府委員、厚生省、水産庁、通商産業省、建設省及び運輸省当局に対し質疑を行った。

○沖縄及び北方問題に関する特別委員会

平成二年

十月三十一日 水曜日

派遣委員から報告を聴いた。

○国民生活に関する調査会

平成二年

十一月 八日 木曜日

派遣委員から報告を聴いた。

○産業・資源エネルギーに関する調査会

平成二年

十月二十九日 月曜日

国際エネルギー情勢及び今後のエネルギー需給見通しに関する件について参考人財団法人日本エネルギー経済研究所総合研究部長藤目和哉君、財団法人中東経済研究所研究主幹小島直君、石油連盟専務理事能登勇君及び東京電力株式会社取締役加納時男君から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

(付) I 参議院役員一覧

役 員		召 集 日	会 期 中 選 任
議 長		土 屋 義 彦君	
副 議 長		小 山 一 平君	
常 任 委 員 長	内 閣	井 上 孝君	
	地 方 行 政	野 田 哲君	
	法 務	矢 原 秀 男君	
	外 務	岡 野 裕君	
	大 蔵	大河原 太一郎君	
	文 教	下稲葉 耕 吉君	
	社 会 勞 働	福 間 知 之君	
	農 林 水 産	吉 川 博君	
	商 工	名 尾 良 孝君	
	運 輸	中 川 嘉 美君	
	通 信	一 井 淳 治君	
	建 設	矢田部 理君	
	予 算	平 井 卓 志君	
	決 算	及 川 一 夫君	
特 別 委 員 長	議 院 運 営	下 条 進一郎君	
	懲 罰	久 保 巨君	
	科 学 技 術	和 田 教 美君	
	環 境	上 野 雄 文君	
	災 害 对 策	糸 久 八重子君	
	選 挙 制 度	鈴 木 貞 敏君	
	沖 繩 ・ 北 方	田 沢 智 治君	
調 査 会 長	国 連 平 和	2.10.24 設置	加 藤 武 德君 (2.10.24)
	土 地 問 題	2.11. 2 設置	穂 山 篤 君 (2.11. 2)
	賀 詞 案	2.11. 7 設置	下 条 進 一 郎 君 (2.11. 7)
事 務 総 長	外 交 ・ 安 保	中 西 一 郎君	
	国 民 生 活	遠 藤 要君	
	産 業 ・ 資 源	田 英 夫君	
		佐 伯 英 明君	

(付) II 参議院会派別所属議員数表

(会期終了日 平2・11・10現在)

会 派	議員数	①平4・7・7任期満了			②平7・7・22任期満了		
		比例	選挙	計	比例	選挙	計
自由民主党	113 (6)	24 (2)	51 (2)	75 (4)	16 (2)	22	38 (2)
日本社会党・護憲共同	73(16)	9 (1)	12 (2)	21 (3)	20 (6)	32 (7)	52(13)
公明党・国民会議	20 (3)	7 (1)	3	10 (1)	6 (2)	4	10 (2)
日本共産党	14 (6)	5 (1)	4 (2)	9 (3)	4 (2)	1 (1)	5 (3)
連合参議院	12 (2)	0	1	1	0	11 (2)	11 (2)
民社党・スポーツ・国民連合	10	3	2	5	3	2	5
参院クラブ	4	1	1	2	1	1	2
各派に属しない議員	5 (1)	1	1	2	0	3 (1)	3 (1)
欠 員	1	0	1	1	0	0	0
合 計	252(34)	50 (5)	76 (6)	126(11)	50 (12)	76(11)	126(23)

※ () 内は婦人議員数